

# スーパーマーケット景気動向調査

2016年9月調査結果（8月実績）  
（2016年9月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

## 9月調査（8月実績）結果概況

### 景気判断DI 現状・見通し判断ともに大幅に悪化、見通し判断DIは38.3まで低下

8月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-4.9の40.5、見通し判断も前月から-4.1の38.3と共に大きく悪化をみせた。

経営動向調査は全てのDIが前月から低下した。売上高DIが-17.1（前月比-14.0）、収益DIは-13.2（前月比-9.7）と二桁のマイナスまで低下をみせた。土日が一日少なく、加えて台風による影響を受けた地域もあったため、来客数DIが-15.2（前月比-8.2）と大きく低下し、加えて販売価格DIが2013年6月以来のマイナス（-1.2）を記録したことで、客単価DIが-3.5と低下したことが影響している。

カテゴリー動向結果では、前月から一転してすべてのDIがマイナスとなった。猛暑による夏物・涼味関連商材の好調はみられたものの、来客数の減少に加え、一部では地域振興券の反動もみられたため、総じて不調となった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は現状・見通し共にすべてのDIが悪化をみせており、調査開始以来の最低水準に接近している。なかでも景気判断DIや消費購買意欲DIの低下幅が大きく、見通し判断DIは30台を記録するなど低迷している。2015年の秋頃から弱含みな傾向が続いており、いまだ下げ止まりはみられていない。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

特に食品スーパーは、曜日めぐりや天候要因など外部要因に大きな影響を受けるため、共に逆風であった8月は各DIが大幅な低下をみせた。懸念されるのは、見通し判断の悪化である。これは一時的な影響だけでなく、先行きへの不安の高まりといえ、販売価格の低下や客単価の低下傾向への危機感の表れともいえる。今後も見通し判断DIの動向には注意が必要となる。

#### 景況感調査

##### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月：40.5 (-4.9) 前月：45.4	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：41.5 (-4.2) 前月：45.7	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：40.4 (-1.9) 前月：42.3	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：43.0 (-2.5) 前月：45.5
--	---	---	---

##### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月：38.3 (-4.1) 前月：42.4	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：39.5 (-4.3) 前月：43.8	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：37.9 (-2.1) 前月：40.0	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：42.0 (-2.7) 前月：44.7
--	---	---	---

#### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月：-17.1 (-14.0) 前月：-3.1	<b>客単価DI</b> 当月：-3.5 (-5.7) 前月：2.2	<b>来客数DI</b> 当月：-15.2 (-8.2) 前月：-7.0	
<b>収益DI</b> 当月：-13.2 (-9.7) 前月：-3.5	<b>販売価格DI</b> 当月：-1.2 (-2.6) 前月：1.4	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月：4.2 (-0.5) 前月：4.7	<b>食品仕入原価DI</b> 当月：1.4 (-3.0) 前月：4.4

#### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月：-13.5 (-17.5) 前月：4.0	<b>水産DI</b> 当月：-16.8 (-12.6) 前月：-4.2	<b>畜産DI</b> 当月：-12.7 (-9.6) 前月：-3.1	
<b>惣菜DI</b> 当月：-5.6 (-13.2) 前月：7.6	<b>日配DI</b> 当月：-5.0 (-8.0) 前月：3.0	<b>一般食品DI</b> 当月：-8.1 (-10.2) 前月：2.1	<b>非食品DI</b> 当月：-11.5 (-7.7) 前月：-3.8

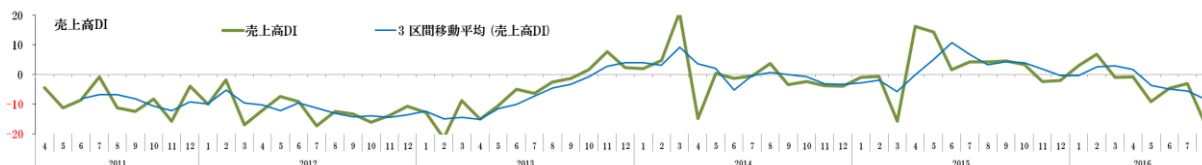
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 9月調査（8月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

2015年3月以来の二桁マイナスを記録

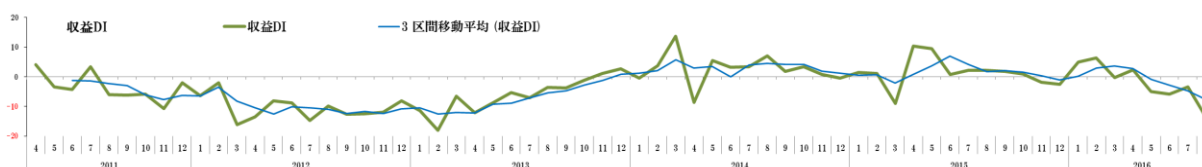
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	6.4	30.0	35.5	25.6	2.5	-3.1
<b>売上高 (当月)</b>	<b>14.5</b>	<b>52.1</b>	<b>21.2</b>	<b>11.5</b>	<b>0.6</b>	<b>-17.1</b>



### 2. 収益DI

2013年4月以来の二桁マイナスを記録

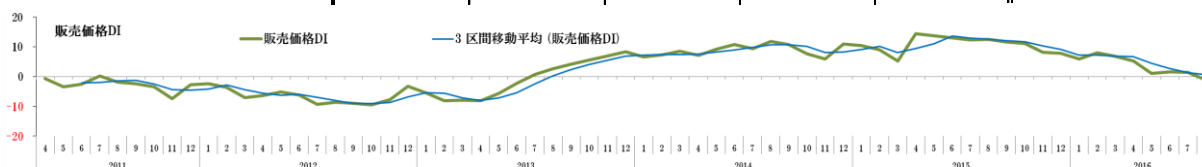
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	7.0	29.1	39.2	20.1	4.5	-3.5
<b>収益 (当月)</b>	<b>11.8</b>	<b>46.0</b>	<b>27.3</b>	<b>13.0</b>	<b>1.9</b>	<b>-13.2</b>



### 3. 販売価格DI

2013年6月以来のマイナスを記録

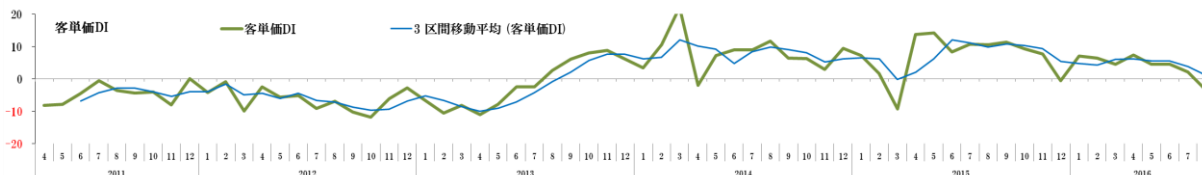
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	13.4	68.2	17.9	0.5	1.4
<b>販売価格 (当月)</b>	<b>0.0</b>	<b>17.3</b>	<b>71.0</b>	<b>11.1</b>	<b>0.6</b>	<b>-1.2</b>



### 4. 客単価DI

2015年12月以来のマイナスを記録

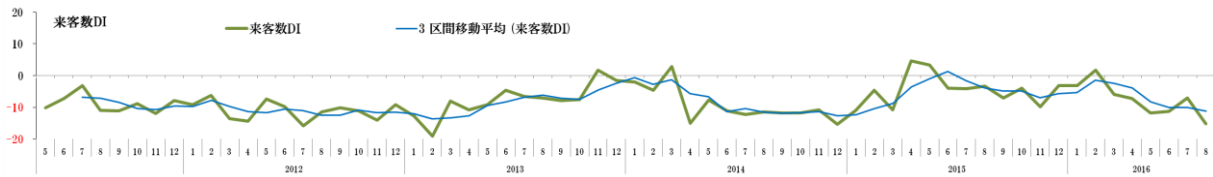
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.5	21.8	46.0	31.7	0.0	2.2
<b>客単価 (当月)</b>	<b>0.0</b>	<b>30.5</b>	<b>53.0</b>	<b>16.5</b>	<b>0.0</b>	<b>-3.5</b>



## 5. 来客数 DI

当月大きく低下し、再び二桁マイナス

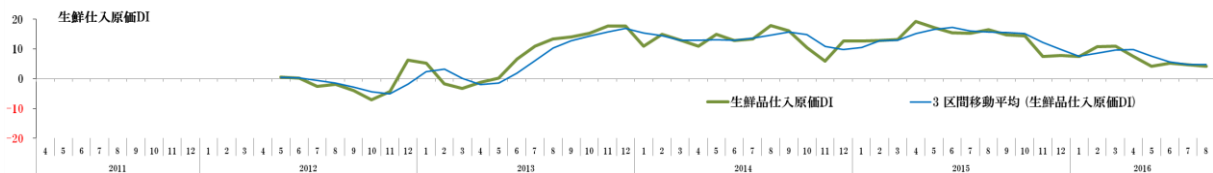
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.5	36.5	42.5	15.5	1.0	-7.0
<b>来客数 (当月)</b>	<b>9.1</b>	<b>54.3</b>	<b>25.6</b>	<b>10.4</b>	<b>0.6</b>	<b>-15.2</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

プラス圏で横ばいでの推移

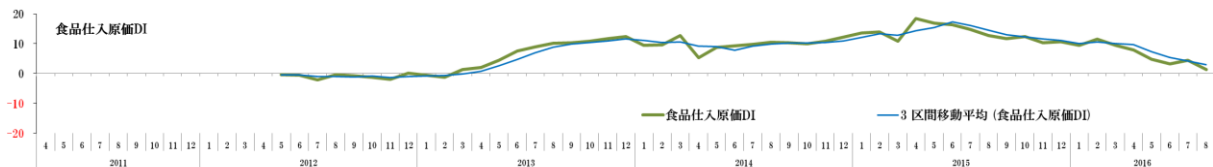
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	8.7	64.8	23.5	2.6	4.7
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>1.9</b>	<b>13.2</b>	<b>53.5</b>	<b>28.9</b>	<b>2.5</b>	<b>4.2</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

下降傾向が継続するもわずかにプラス圏を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	6.6	69.7	21.2	2.0	4.4
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>0.6</b>	<b>9.4</b>	<b>75.0</b>	<b>13.8</b>	<b>1.3</b>	<b>1.4</b>

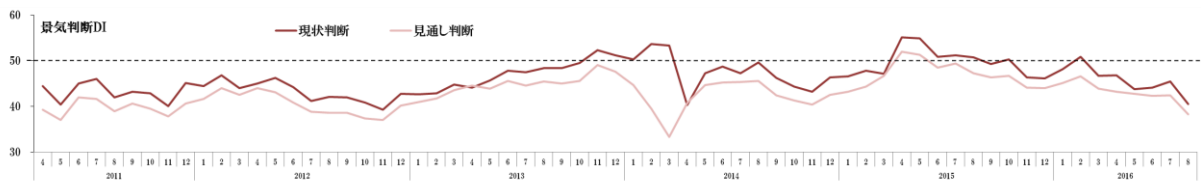


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に大幅に悪化し、過去最低の水準に接近

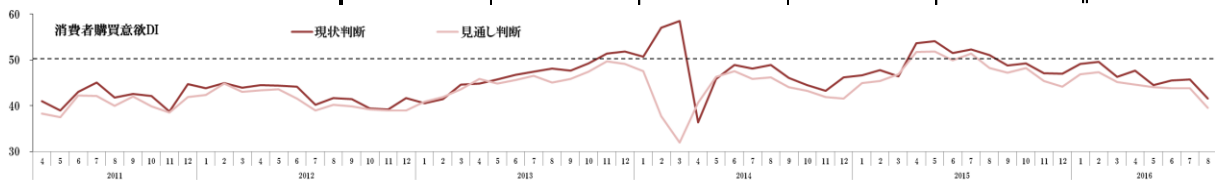
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	3.0	22.5	64.5	10.0	0.0	45.4
【現状】景気判断 (当月)	3.7	34.8	57.3	4.3	0.0	40.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	3.4	29.6	61.1	5.9	0.0	42.4
【見通し】景気判断 (当月)	4.8	38.2	55.8	1.2	0.0	38.3



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に大幅に悪化し、過去最低の水準に接近

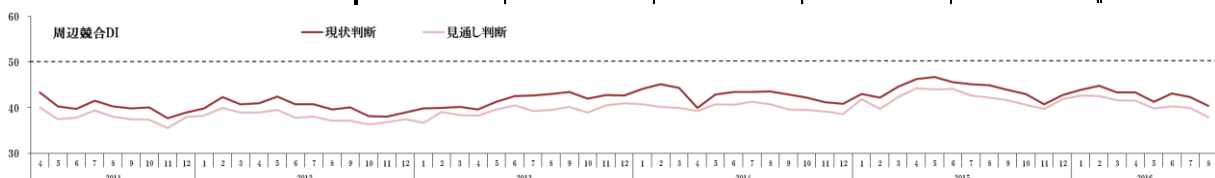
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.5	22.3	71.3	5.9	0.0	45.7
【現状】購買意欲 (当月)	1.8	36.0	56.7	5.5	0.0	41.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.5	27.1	69.0	3.4	0.0	43.8
【見通し】購買意欲 (当月)	1.8	39.4	57.6	1.2	0.0	39.5



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に悪化

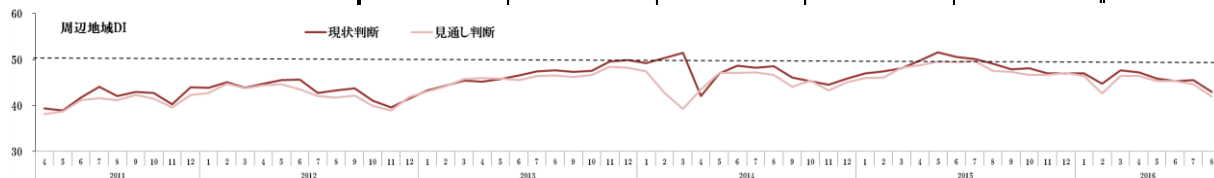
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.5	25.2	70.3	0.5	0.5	42.3
【現状】競合状況 (当月)	3.7	31.7	64.0	0.6	0.0	40.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.9	31.5	62.1	1.5	0.0	40.0
【見通し】競合状況 (当月)	7.9	33.3	58.2	0.6	0.0	37.9



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に悪化

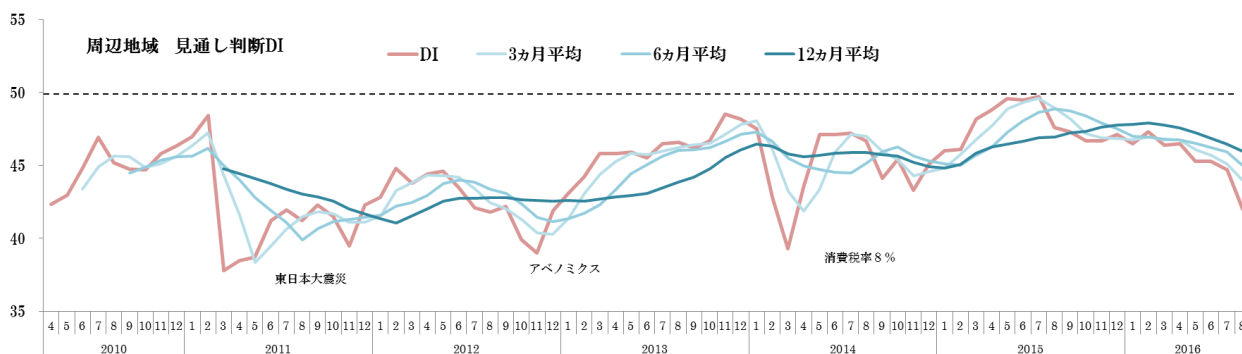
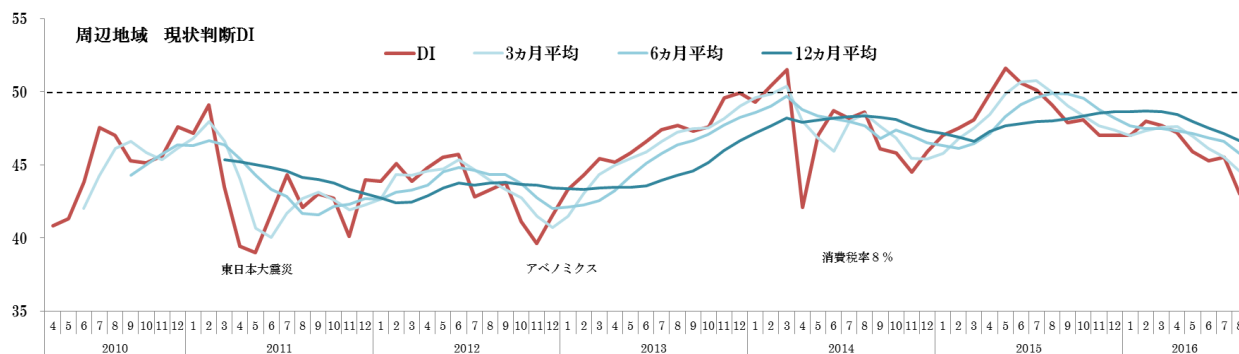
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	20.4	77.1	2.5	0.0	45.5
【現状】地域景気(当月)	1.2	26.8	70.7	1.2	0.0	43.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.5	22.4	75.1	2.0	0.0	44.7
【見通し】地域景気(当月)	1.2	30.9	66.7	1.2	0.0	42.0



#### 長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月と5月も下落をみせ、ダウントレンドが一層鮮明となっている。直近6月、7月は横ばい水準での推移となり、一旦下げ止まりを見せていたが、8月に一転して大きく下落した。

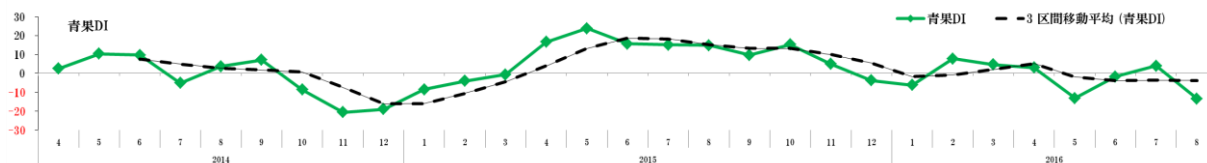
4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録したが、引き続き、他の平均線もすべてマイナス推移を続けている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-13.5（不調）

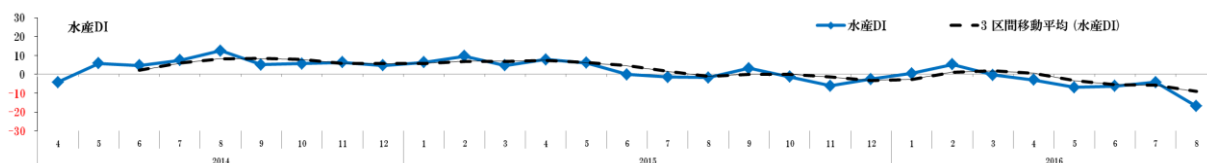
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.1	26.5	34.9	30.7	6.9	4.0
青果（当月）	<b>13.5</b>	<b>44.9</b>	<b>25.6</b>	<b>14.1</b>	<b>1.9</b>	<b>-13.5</b>



葉物野菜が相場安となり単価が大きく下落し、売上低下の要因となった。土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリー全体では不調となった。玉ねぎは品薄高値で推移した。サラダ用のトマトが好調となった。前月に続いて、気温上昇により、果物類は国産、輸入品とも好調となっており、特にキウイフルーツ、なし、スイカやブドウが好調とのコメントが多くみられた。

#### 2. 水産DI：-16.8（不調）

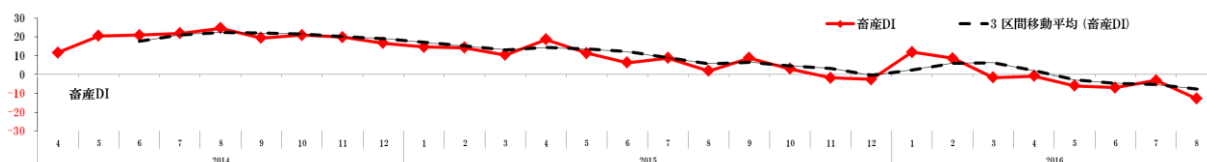
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	7.4	32.6	33.2	23.2	3.7	-4.2
水産（当月）	<b>13.5</b>	<b>51.3</b>	<b>25.0</b>	<b>9.6</b>	<b>0.6</b>	<b>-16.8</b>



鮮魚の入荷不足と相場高のほか、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリー全体では不調となった。特にサンマは入荷量が少なく高値で不振となった。うなぎは昨年土用二の丑から反動で不調とのコメントが多い。お盆期間の刺身類は好調とのコメントが多くみられたが、気温上昇により伸び悩んだ地域もみられた。

#### 3. 畜産DI：-12.7（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	4.7	34.6	33.5	23.0	4.2	-3.1
畜産（当月）	<b>11.8</b>	<b>42.5</b>	<b>32.0</b>	<b>12.4</b>	<b>1.3</b>	<b>-12.7</b>

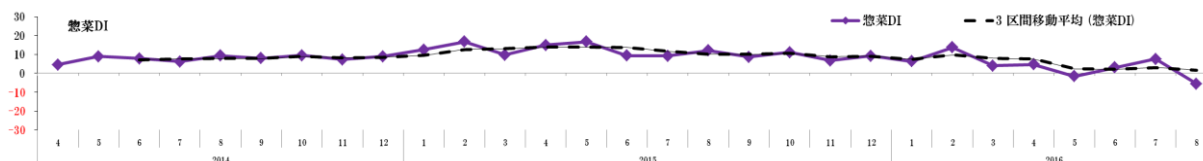


相場高が続く和牛を中心に牛肉の販売数量が伸び悩みをみせたほか、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリー全体では不調となった。気温が上昇した地域では、焼肉用商材の動きがよかった。鶏肉は価格低下傾向にあるが数量の伸びも低く、加工品の不振も続いている。豚肉は好不調が分かれる結果となった。



#### 4. 惣菜DI：-5.6（やや不調）

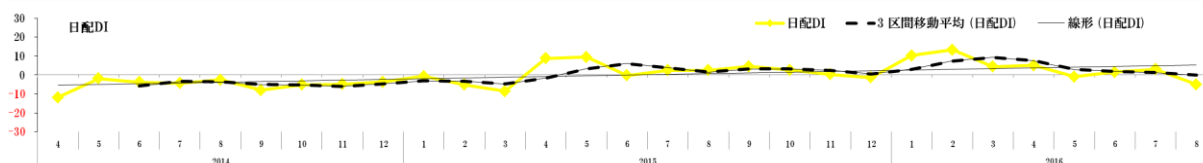
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	4.3	13.3	37.2	38.3	6.9	7.6
惣菜（当月）	6.6	35.5	34.9	19.7	3.3	-5.6



オリンピックや夏休み関連で売上を伸ばした店舗もみられた一方で、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリ全体ではやや不調となった。お盆中はオードブルや寿司類が好調であったが、例年より期間が短かったとのコメントが多い。猛暑となった地域では涼味商材が好調となり、家庭調理を敬遠する傾向を追い風に売上を伸ばした店舗があった。新メニューの投入が成果をあげているとのコメントもみられる一方で、人手不足や競合の激しさを指摘もみられた。

#### 5. 日配DI：-5.0（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	4.2	19.9	39.8	31.9	4.2	3.0
日配（当月）	6.5	31.0	39.4	22.6	0.6	-5.0



猛暑の影響で、夏物・涼味関連商材（特にアイス）が好調となったが、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリ全体ではやや不調となった。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調となっており、パンや和日配については不調とするコメントが多くみられた。

#### 6. 一般食品：-8.1（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.3	20.2	43.6	26.6	5.3	2.1
一般食品（当月）	10.4	33.1	37.0	17.5	1.9	-8.1

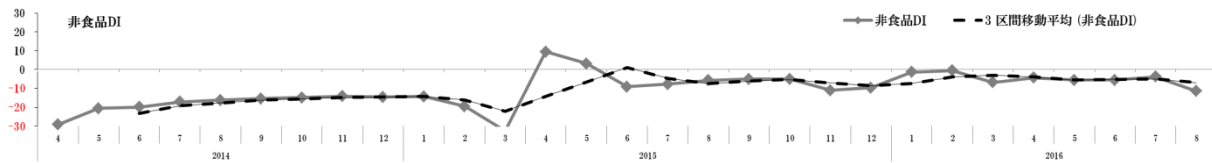


猛暑の影響で、夏物・涼味関連商材（飲料、乾麺やつゆなど）が好調であったが、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリ全体ではやや不調となった。米については前年に比べ単価が上昇しており好調となっている。菓子類は不調、アルコール類は好不調が分かれる結果となった。



## 7. 非食品DI：-11.5（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.5	29.0	40.9	16.1	6.5	-3.8
非食品（当月）	14.4	32.2	41.1	9.6	2.7	-11.5



洗剤や殺虫剤など一部に動きがよくなっている商品も見られるが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にある。衣料品やタバコを不調とするコメントが多くみられた。

### カテゴリ別DIによる好不調判断

かなり好調：～ 20      好調：20 ～ 10      やや好調：10 ～ 0  
 やや不調：0 ～ -10      不調：-10 ～ -20      かなり不調：-20～

### 2016年9月調査（8月実績）キーワードTOP3

1. 曜日めぐり（昨年より土日が一日ずつ少ない・お盆期間）
2. 天候要因（台風の影響 気温上昇）
3. プレミアム商品券の反動

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

8月実績速報版      165社  
 7月実績確報版      203社

### スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)